

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名 (医療法人社団英駿会大久保クリニック)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

目 番 号	テ グ ム	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
1	人 権 ・ 労 働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			雇用、評価、昇進、配置等のあらゆる処遇において、性別・年齢・国籍等による差別のない公平な人事制度を運用している。相談窓口を設置し、全職員への周知を行っている。																		
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			就業規則にハラスメント禁止規定を明記し、全役職員への周知徹底を図っている。専用の相談窓口を設置し、初期対応からプライバシー保護まで迅速に対応する体制を整備している。																		
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			出勤簿やシフト表を用いて全職員の労働時間を事務局で毎月適切に把握・管理し、過度な長時間労働の防止に努めています。今後はさらなる業務効率化とリアルタイム管理を目指し、オフィスステーション等の勤怠管理システムの導入検討を進めています。																		
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			現在、外国人労働者の雇用実績はありませんが、法人の就業規則に基づき、国籍や出自による差別・人権侵害を行わない方針を徹底しています。今後採用を行う際にも、適切な処遇と労働環境の整備を行う体制を整えています。																		
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			医療・介護現場における針刺し事故や腰痛等の労働災害を防ぐため、安全衛生委員会を設置し、定期的な職場巡視や安全衛生講習を実施してリスク軽減に努めている。																		
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			全職員を対象とした年1回のストレスチェックを確実に実施している。産業医や専門窓口との連携体制、および復職支援に関する規程を整備し、心の健康維持に取り組んでいる。																		
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			女性職員の積極的な管理職・主任職への登用をはじめ、高齢者や障がい者も含めた多様な人材がそれぞれの資格や専門性を活かして柔軟に活躍できる勤務体制を整備している。																		
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			職種別・階層別の研修体系(医療安全、感染対策、介護技術等)を整備し、外部講習への参加費補助やオンデマンド研修の導入など、積極的な能力開発の機会を提供している。																		
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			同一労働同一賃金の原則に沿って、正職員・パートタイム・有期契約の全雇用形態において、職務内容や責任に応じた公平な賃金体系および諸手当の支給基準を整備している。																		
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)																					
11	環 境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			医療廃棄物(感染性廃棄物等)の分別・計量・処理台帳を厳格に管理し、マニフェスト(管理票)に基づき特別管理産業廃棄物処理業者へ適正に委託処分を行っている。																		
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			日本テック株式会社の電力監視システム等を利用し、毎月の電力使用量および温室効果ガス排出量をデータ化して適切に把握・管理している。																		
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			2026年6月に施設内の高圧変圧器、高効率空調(冷暖房設備)、および非常灯LED化の大型省エネ更新工事を実施し、実排出量の徹底的な削減を進めている。また、調達電力には100%相当の非化石証書を導入している。																		
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			院内・施設内で使用する各種消毒液や薬品、医療用消耗品等のMSDS(安全データシート)を把握し、特別管理産業廃棄物(感染性廃棄物等)を含め、関係法令および処理基準に則って適正に管理・委託処分を行っている。																		

目 番 号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			ペーパーレス化(電子カルテやICTツールの活用)による森林資源の保護や、環境負荷の少ないグリーン購入(事務用品・環境配慮型の洗剤等)を優先的に選択している。						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			コピー用紙の両面印刷の徹底、プラスチック製医療資材の適切な分別回収、リユース可能な備品の長寿命化を図り、廃棄物発生抑制(リデュース)と資源循環に努めている。										13		14.1					
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)									6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)						3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)															12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)										7.2						13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)															12.2	13	14	15		
22	公 正 な 事 業 慣 行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			法人のコンプライアンス規程に基づき、あらゆる取引先や関係機関との間における不正な利益供与や汚職、贈収賄行為の禁止を明文化し、全職員に周知徹底しています。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			医薬品や医療機器、各種施設インフラ等の調達において、特定の業者への不当な優遇を排除し、相見積もりによる価格の妥当性評価など、公正かつ透明な取引・競争環境を維持しています。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			他者の著作物(論文、医療データ、画像等)や商標、ソフトウェアライセンスを適切に管理・使用し、知的財産権の侵害が発生しないよう社内ルールを遵守している。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			医療・介護情報を取り扱う法人として『個人情報保護方針(プライバシーポリシー)』を策定・公表し、患者様・利用者様のカルテ情報等の機密保持、セキュリティ対策、全職員への定期研修を徹底している。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)																				16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)								5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	取引先との共存共栄を目指す『パートナーシップ構築宣言』について、仕組みを理解し、今後作成・公表に向けて検討を進める。			3					8	9	10							17

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																		
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 （必須）			インシデント・アクシデントレポート等のリスクマネジメント体制を構築し、ヒヤリハット事例の収集と分析による医療安全・介護事故防止対策を徹底している。			3.9										12.4						
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 （必須）			定期的な職員研修の実施や、患者様・利用者様およびご家族からのご意見・相談窓口を設置し、サービスの質の向上とクレーム対応の仕組みを構築している。									9										
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ （任意）									6							12	13	14	15			
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ （任意）					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 （必須）			松本市島内地区の地域住民や行政と密に連携し、地域の健康教室の開催やボランティア活動への参画、災害時における地域住民の安全確保など、地域社会と共生する運営を行っている。				4					9		11	12		14	15		17		
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ （任意）							4							11				14	15		17	
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ （任意）											8	9		11	12	13						
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 （必須）			法人の理念・経営目標を明文化し、定期的な全体会議や面談を通じて、経営層（理事長・事務長）から全職員へ直接説明を行い、組織のベクトルを共有している。								8	9									17	
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 （必須）			医療法、介護保険法、労働基準法などの関連法規の改正情報を事務局で常時モニタリングし、委員会等の開催を通じて法令を確実に遵守する運営管理体制を構築している。																	16		
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 （必須）			SDGsや環境・省エネ、労務環境改善への対応を推進するため、事務長を統括責任者に任命し、各施設の管理者と連携して法人全体で迅速に意思決定ができる体制を敷いている。																	16		
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 （必須）			患者様や利用者様へのアンケート調査を定期的実施するほか、行政や地域包括支援センター等の外部利害関係者との定期的な意見交換を通じて、ニーズを運営に反映させている。																	16	17	
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ （任意）																					16	
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ （任意）																					16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）													9		11		13 13.1			16		
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ （任意）												8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定